

4 研究のまとめと今後の課題

特別な教育的ニーズをもつ児童生徒に対する教科指導の充実を図るために、算数・数学が苦手な児童生徒のつまずきや困難さを軽減するための指導の工夫や支援のアイデアを収集した。そして「特別支援教育の視点」で整理することにより、特別な教育的ニーズをもつ児童生徒への学習支援の手立てとして教師間で共有することができ授業に生かすことができると考え、研究を進めてきた。また、分かりやすく活用しやすい研究とするために、指導の工夫や支援のアイデアを、「つまずきに対応する支援シート」と「指導案の展開の中での工夫」としてまとめ、具体的な活用の仕方について示した。

(1) 研究のまとめ

① つまずきや困難さを軽減するための指導の工夫や支援のアイデアの収集について

算数・数学が苦手な児童生徒への指導や支援は、その単元の目標や指導のねらいに沿った授業の中で、これまでも行われてきた。通常の学級には、特別な教育的ニーズをもつ児童生徒が複数いるため、多様な教育的ニーズに対応するためには、多様な指導の工夫や支援のアイデアが求められる。

今回、指導の工夫や支援のアイデアを収集したことにより、課題に対して児童生徒がどこでどのようにつまずくのか、そのつまずき方と原因について多面的に捉えることができ、それらを解決するための指導の工夫や支援のアイデアを、複数得ることができた。

② 収集した指導の工夫や支援のアイデアを整理することについて

収集した指導の工夫や支援のためのアイデアは、算数・数学の領域や児童生徒の発達段階に応じた学年の目標に沿った内容であり、そのような視点から整理することもできる。

今回は、多様な教育的ニーズに応じた授業づくりの必要性から、次の4つの工夫を「特別支援教育の視点」として、収集した指導の工夫や支援のアイデアを整理した。

- ・ 基本的な授業の計画における工夫
- ・ 安心して参加できる授業の工夫
- ・ 一人一人の違いに対応できる授業の工夫
- ・ 授業の評価の工夫

「特別支援教育の視点」で整理をすることは、これまで通常の学級の担任が、授業の中で行ってきた指導の工夫や支援に対して、特別支援教育の考え方を取り入れることである。そうすることが、特別な教育的ニーズを

もつ児童生徒だけへの支援ではなく、全ての児童生徒にとってもわかりやすい授業を展開することにつながっている。また、「特別支援教育の視点」は算数・数学だけではなく、他教科においても応用できると考える。

③ 整理した指導の工夫や支援のアイデアを共有・活用するために

授業の中で行われている指導の工夫や支援のアイデアは、プリントやワークシートなどの教材作成等を含み、学級全体の実態に応じて、教師が一人で考え、準備することが多い。特別な教育的ニーズをもつ児童生徒が複数いる集団において、このように教師個人が、個に応じた教材やプリントを準備することは簡単ではない。本研究では、収集した指導の工夫や支援のアイデアを整理し、教師間で共有し活用しやすいように「つまずきに対応する支援シート」と「指導案の展開の中での支援」を資料集としてまとめた。これらには、ワークシートやヒントカード等の教材やデジタルコンテンツも含まれており、茨城県教育研修センターのWebページから取り出して活用できるようにした。このような「支援シート」等にまとめた指導の工夫や支援のアイデア、教材等をヒントとして、児童生徒の実態に応じて柔軟に改善していくことができると考える。

(2) 今後の課題

今回の研究では、算数・数学が苦手な児童生徒に対する指導の工夫や支援のアイデア等、これまでの実践の成果を収集し、「特別支援教育の視点」で整理することにより、より多くの教師が共有・活用していくことを目的とした。今後は指導の工夫や支援のアイデアを広く募集し（資料2）、より多く蓄積していくことで充実を図りたいと考える。また、「支援シート」やWebページのコンテンツ等についても、実際に活用することで、より使いやすく修正、改善していきたいと考える。今回は、算数・数学を取り上げたが、他の教科でも、教科の特性を生かし様々な指導や支援の工夫を行っていると思われる。他の教科でも、特別支援教育の視点を取り入れて整理をすることによって、分かりやすい授業展開の工夫につながるものと考ええる。

【つまずきに対応する支援シート 枠】

	学 年	単 元（題 材）	学 習 内 容
つまずき方 誤答例 原 因			
支 援 の 手 立 て (指導方法, 教材・教具, ワークシート, ヒトカード, 指導形態の工夫など)			

資料2 つまずきに対応する「支援シート」枠